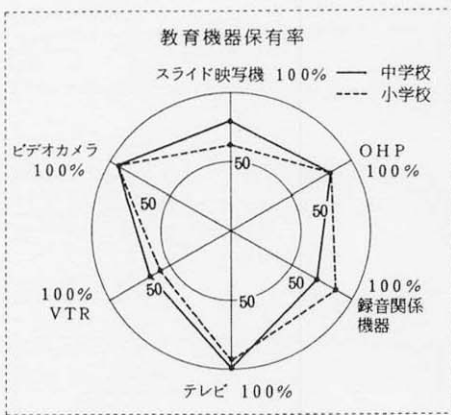


視聴覚教育

視聴覚機器保有調査の報告

視聴覚部研修委員会

視聴覚部研修委員会では、平成七年六月末に各学校の視聴覚機器保有状況を調査した。調査内容は、「A・機器保有状況」、「B・使用頻度の高い機器」、「C・今後、充実を希望する機器」の三項目である。詳細は、年度末に刊行される「岡崎の視聴覚教育」第二十七号に掲載するが、ここでは、その概略を述べる。



機器保有率とは、文部省が提示している学校規模による標準品目基準数量に対する割合である。VTRは特に今後充実にしていきたい機器である。

NO. 216

発行日 7. 10. 3

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

視聴覚キーワード
『デジタルビデオ』
画像・音声をデジタル方式で記録するビデオ。ハイ8やSVHSなどに比べて、色の情報量、解像力が3倍もあり、画面に立体感が生まれるとともに、ノイズのない高音質が楽しめる。

使用頻度の特に高い機器は、VTR、CD付ラジカセ、テレビ、OHPなどである。教材提示機やビデオプロジェクターなどの機器も、その特性を生かして活用されている。

今後充実したい機器として、VTR、ビデオカメラを筆頭に大型テレビや教材提示機の充実に望む声も多い。VTRやビデオカメラなどが

使用頻度の高い機器	小学校	中学校	合計
VTR	32	14	46
CD付ラジカセ	26	10	36
テレビ	17	5	22
OHP	12	8	20
ビデオカメラ	11	6	17
教材提示機	6	5	11
ビデオフロッピー	3	2	5
パソコン	1	2	3
ビデオプロジェクター	2	1	3
ビデオタイタラー	3	2	5

普及するにつれて大型テレビの要望がここ数年続いている。また、今後の傾向として、ミニディスクの普及が予想される。

充実したい機器	小学校	中学校	合計
VTR	28	15	43
ビデオカメラ	15	10	25
CD付ラジカセ	16	4	20
大型テレビ	10	7	17
教材提示機	9	6	15
ビデオプロジェクター	8	6	14
OHP	7	3	10
ビデオフロッピー	6	3	9
スライド	3	2	5
ビデオタイタラー	3	2	5
ビデオ編集機	2	1	3
電子スチルカメラ	1	1	2
パソコン	1	1	2
LDプレーヤー	1	1	2
パソコン	1	1	2
ビデオプリンター	1	0	1
ミニディスク(MD)	0	1	1

アンケートの集計より

視聴覚教育あれこれ II 教研集会報告

去る九月十四日(木)、第四十五次岡崎市教育研究集会が開催された。視聴覚部会は竜南中学校において行われ、助言者に愛知教育大学教授の今榮國晴先生をお迎えした。参加者五十三名により、「個性を大切に、人間性豊かな子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追求しよう」をテーマに、熱心な報告・討論が行われた。発表されたリポート十五点の内容を分類すると次のようになる。

・学習効果を高める視聴覚教材・機器や放送を活用した実践 (7)

・パソコン機能の理解とそれを活用した実践 (4)
・マルチメディアを活用した実践 (4)

助言者の今榮先生には、丁寧な御指導、御助言、また、岡崎の視聴覚教育の積極的な取組と先進性をほめていただいたうえで、次のような言葉でまとめられ、閉会した。

実践に自信を持ち、今後もニューメディアを使いこなす能力を磨くことに努力してほしい。

なお、父母と教師の教育を語る会(県教研)正会員には、藤川小学校の寛美鈴先生、井田小学校の渡辺政則先生が選出された。



VOD利用三十校実践授業開始!

岡崎市フルネットワークプロジェクトVOD利用の三十校実験が九月二十八日(木)〜十月二十七日(金)に行われる。実践授業の単元・題材及び授業者は以下のとおりである。

学校名	授業者	単元・題材
岩津小	栗田 正明	四年社会「愛知県の自然と産業」
矢作北小	坂井 朋弘	五年社会「自動車をつくる工業」
岩津小	篠島 篤司	六年理科「生物界のつながり」
新香山中	浪花 良行	三年理科「自然と人間との調和」
細川小	細川 名倉 訓仁	五年社会「自動車をつくる工業」
美合小	中山 政彦	六年社会「移り変わる社会」
六中小	安部 朋彦	六年国語「研究したことを書きましよう」
常磐小	小澤 徹	六年社会「天下統一」
矢作西小	中村 吉史	四年社会「いろいろな土地のくらしとわたしたちの国土」
藤川小	田中 美紀	四年国語「おかさきっ子展をふりかえってみよう」
矢作中	杉浦 修	一年特活「矢作の地域マップをつくらう」
六北中	小坂 芳正	三年理科「生物どうしのつながり」
生平小	池田 芳浩	六年社会「わたしたちの生活と政治」
常南小	鈴木理栄子	五年社会「自動車をつくる工業」
矢作東小	山崎 彰伯	六年社会「家を調べよう」
東海中	真木 芳衛	特 活「部活動の意義とは」
秦梨小	吉口 重夫	五年社会「自動車をつくる工業」
矢作北中	倉橋 富夫	特 活「環境問題について考えよう」
竜谷小	尾崎 智佳	五年社会「自動車をつくる工業」
奥殿小	荻野 順子	五年社会「工業生産と公害」
山中小	杉山 康子	四年社会「愛知県の自然と産業」
常磐東小	椋 哲也	五年社会「伝統的な技術を生かした工業」
常磐中	天野 幸輔	二年英語「英作文」
本宿小	日置 正敏	五年社会「自動車をつくる工業」
恵田小	後藤 哲人	六年社会「戦争と新しい日本の出発」
矢作南小	内田 尚之	五年社会「自動車をつくる工業」
北野小	酒井 聡	五年社会「工業生産と公害」
六ツ美中	神谷 築信	三年特活「読書週間を盛り上げよう」
六北小	杉田 浩史	五年社会「わたしたちの生活と国土」
河合中	前田 康幸	三年社会「国民の生活と福祉」

実践報告II

視聴率一〇〇%!!

六ツ美北部小学校 近藤 義孝

「九月五日火曜日。二学期最初の音楽教材まるごとコンサートの時間がやってきました。」

「今日の司会は、〇〇と、〇〇です。」

「ところで、夏休みは何をしましたか。」

「キャンプ。五回も行ったんですよ。」

「そうですか。いいですね。ぼくなんか一回しか行ってないんですよ。でも遊園地に行きました。楽しかったですよ。」

「なるほど。それでは一曲目。キャンプの歌。」

『遠き山に日は落ちて』です。」

放送委員による絶妙なかけ合いで、昼の放送が始まる。放課ごとに集まって、リハーサルを重ねた成果である。もちろん視聴率一〇〇%。昼の放送は、次のような計画で進められている。

- ・月曜日：それゆけ六北ッ子! (映像)
- ・教師もすすんで参加する「紅白歌合戦」。
- ・火曜日：音楽教材まるごとコンサート (音声)
- ・音楽の教材を、前述のように楽しく紹介。
- ・水曜日：六北ラジオステーション (音声)
- ・流行歌を、楽しく解説しながら紹介。
- ・木曜日：お休み、学級裁量。
- ・金曜日：六北小ニュースてんこもり (映像)

毎回多彩なゲスト(教師)を迎え、意外な素顔を引き出し、大人気。

予定通りの発言のみならず、アドリブも混じえ、明るく楽しい放送が進行されていく。その裏には、放送委員による秒単位の綿密な細案があることを忘れてはならない。

視聴率一〇〇%の昼の放送。みんなの心に残る放送にするため、毎日進んで努力する放送委員と、ゲストとして出演し楽しい話題を提供して下さる教師陣にエールをおくりたい。

小学校放送コンテスト結果

第9回小学校放送コンテストが、八月二十五日(金)名古屋市教育局で行われた。アナウンズ部門で、竜美丘小学校の横井未央子さんが、優秀賞を受賞した。

ライブラリーだより

☆カラーTP作成のお知らせ

ライブラリー備え付けのトランスペアレンシー作成機を利用して、カラーTPを作成することができます。写真やビデオ映像、図表などを、A4判のTPにすることが出来ます。縮小・拡大も可能です。ぜひ、ご利用ください。

なお、利用に際しては、事前にライブラリーへ連絡してください。

☆自作TP作品募集

自作TP作品募集の締め切りが十月十一日(水)と迫っています。奮ってご応募ください。